

[wakahara_04]

| | |
|--------|--|
| 活動タイトル | 「温暖化を考える」啓成高校新聞局員との対談 |
| 実施日 | 2014年6月6日 15:50~19:00 |
| 場所 | 北海道札幌啓成高等学校（札幌市） |
| 対象数 | 5人（生徒4人、顧問1人） |
| 内容 | <p>事前に受けていた14項目の質問を「温暖化の科学・影響・対策」に分類し、P.Pのスライドで説明しました。その後、新たな質問を受けながら温暖化の各方面について話し合い予定の時間を1時間もオーバーしました。この内容については後日学校新聞に掲載されるということです。これからの社会を担う高校生に温暖化の問題を真摯に考えていただき、その内容が学校新聞を通じて友人や家族へ知らされ、温暖化防止活動の輪が大きくなることを期待しています。</p> <p>[実施概要]</p> <p>次の事項を説明しました。IPCCの第5次報告書の概要。温暖化の科学では仕組みと原因そして現状。温暖化懐疑論の払拭。温暖化の影響では、現在すでに起きている影響、100年後の予測される影響。温暖化の対策・効果では日本の法的裏づけと現状、緩和策と適応策、経済発展も自由度が無限なのではなく、地球温暖化を防止する範囲内で検討する必要があることを説明。最後に高校生にできることは何かでは、環境にやさしい行動の心構えと3Rの実践の話をしました。「配布資料」は・質問に対する回答・環境行動ハンドブック・家庭の省エネガイド・適応への挑戦2012・北海道の気候変化などです。</p> |
| 実施写真等 | |